

## 武里地区公民館・武里東公民館

### ◇ 運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

### ◇ 重点施策

- 1 近隣の自治会と連携し、モデル事業として防災をテーマにした各種事業を実施する。
- 2 公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
- 3 地区をあげたスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
- 4 子供たちに様々な体験ができる機会を提供する。

### ◇ 重点事業

- 1 武里地区公民館防災対策事業（モデル事業）
- 2 武里市民センターまつり
- 3 武里地区体育祭
- 4 ふれあい教室

武  
里

#### 武里地区公民館

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号

TEL 048-735-3004

FAX 048-737-3033

E-mail takekou@city.kasukabe.lg.jp



#### 武里東公民館

所在地 〒344-0032 春日部市備後東七丁目38番16号

TEL 048-735-2527

FAX 048-735-2527


E-mail taketonkou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	大山祐二
	主査（兼務）	小川裕司
	主任（兼務）	内海美智広（11月まで）
	主任（兼務）	松本直
	主任（兼務）	梅津裕介
	主任（兼務）	依田理紗子（社会教育主事）
	フルタイム（兼務）	立澤佳子（3月18日まで）
	フルタイム（兼務）	大塚洋子
	フルタイム（兼務）	谷口和洋

武里地区 1

事業名 テーマ	防災対策事業		対 象	地域住民		定員	事業により異なる
ね ら い	地域防災について、自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、座学と実践を通じて、各自自治会において応用できる内容を実践する。自治会と公民館の連携だけでなく、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいく。						
協力機関 及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会 (備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会)		特 色 位置づけ	地域団体との連 携事業		SDGs の目 標No	4・11・ 13・17
会 場	武里地区公民館		教 材 資料等	プログラムにより異なる			
実施まで の 経 過	前年度代表者会議・企画運営委員会で 事業について決定。その都度事業の詳細 を協議し、決定。		P R 方法	ポスター・チラシ 広報「ぼうさい」			
			受付方法	その都度、異なる			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
随時開催	平均約40分	会議(代表者会議8回、企画 運営委員会10回)	会議	94	23	117	
7月3日(土)	12:50～13:10	開錠訓練	会議	13	1	14	
7月3日(土)	14:10～14:30	活動班訓練事前研修	会議	10	3	13	
7月11・17・ 20・25日	平均約70分	「おねがい会員」「まか せて会員」所在地図作成	会議	8	4	12	
7月18日(日)	14:00～15:15	活動班訓練	訓練	25	7	32	
7月31日(土)	10:00～12:00	ぼうさい小町武里⑥	会議	2	20	22	埼玉県男女共同参画推 進センター職員
10月9日(土)	10:00～12:00	ぼうさい小町武里⑥	講演	3	13	16	埼玉県男女共同参画推 進センター職員
10月29日(金) ～30日(土)	両日とも 9:00～17:00	武里市民センターまつり 「避難所シミュレーション」	会議	94	113	207	
11月20日(土)	14:00～15:30	「キッズマスター」事前打合せ	会議	2	3	5	
11月23日(火)	13:00～13:30	連絡訓練	訓練	42	25	67	
11月23日(火)	14:00～15:45	目指せ！イツモ防災 キッズマスター	体験	3	2	5	
12月19日(日)	13:30～17:00	キッズフェスタinたけさと 「防災3択クイズ」	体験	8	22	30	
1月22日(土)	10:00～12:00	ぼうさい小町武里⑥	中止			埼玉県男女共同参画推 進センター職員	
2月23日(水)	13:00～13:30	開錠訓練	訓練	4	0	4	
3月21日(月)	10:00～12:00	第9回 防災をかんがえる日	講演	25	14	39	災害リスク評価研究所 代表 松島 康生
毎月 1 日		広報「ぼうさい」発行					3自治会全戸配布
40回	43時間45分			333	250	583	
企画運営上 の 工 夫	・「コロナ禍でもできること」を考え取り組んだ。集まっての訓練が難しい状 況だったが、「連絡訓練」や、少人数での「開錠訓練」を実施した。 ・発災時に、子ども達にも力を発揮してもらえるよう、子ども向け事業「目指 せ！イツモ防災キッズマスター」をスタートした。						
成 果 参加者の 声 など	・避難所開設は、同内容を繰り返し、練度を高めていきたいとの声があった。 ・子ども達や若者にもっと参加してもらえるようにしたいとの声があった。						
課題と展望	子ども達に楽しく参加してもらうための取り組みや、作成から時間が経過した 「防災マップ」の見直し等が課題であり、次年度以降に取り組んでいく。						

事業名 テーマ	子育てサロン		対 象	0歳児～5歳児 その保護者		定 員	15組	
ね ら い	育児中の親子が集い、簡単な遊びを通じて参加者同士の交流を図る。また、専門的な知識・経験を持つ主任児童委員や保育士等への相談の場を設けることで、育児における様々な不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える。							
協力機関 及び団体	春日部市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員連絡会、こども相談 課、生活支援課		特 色 位置づけ	子育て支援事業		SDGs の目 標No	3	
会 場	武里地区公民館 研修室1、研修室2、 教養室1、教養室2		教 材 資料等					
実施まで の 経 過	2月下旬 3月30日（火） 4月1日（木）	各課に共催打診 打ち合わせ 公民館だより4月号 以降、各号にて告知	P R 方法	公民館だより 安心安全メール				
			受付方法	子ども相談課で電話により先着 順に受付				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
※ 8・9・2・3月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止								
4月6日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	交 流 実 習	7	26	33		
5月18日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		5	13	18		
6月1日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	15	18		
7月6日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		6	17	23		
8月3日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談			中止			
9月7日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談			中止			
10月5日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	19	22		
11月2日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	18	22		
12月7日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	15	18		
1月18日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	7	10		
2月1日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		中止				
3月1日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		中止				
8 回	1 2 時間			34	130	164		
企画運営上 の 工 夫	・講座開始前と終了後に、おもちゃやマットの消毒を徹底した。 ・対象に乳幼児も含まれるため、授乳用の部屋を確保した。							
成 果 参加者の 声 など	・コロナ禍外出する機会が減っており、同じ境遇の保護者と接する場や、仲間 づくりの場を見つけるのが難しい状況のため、このような機会があつて良か った。 ・主任児童委員に相談をすることが出来てよかった。							
課題と展望	保護者同士、子供同士の交流の場になっているだけでなく、保護者の育児に対 する不安解消の場にもなっていた。また、今年度から、未就学児向けの事業を 「子育てサロン」に一本化したことで、当講座の立ち位置について、はっきり することができた。コロナ禍で大変な時期ではあるが、「ママ友づくりの場が 少なく、育児に不安を抱えた保護者が増えている。」という問題が分かったた め、引き続き、感染防止対策を徹底しつつ、関係者と協力しながら事業を継続 し、地域の「子育て」を応援していきたい。							

## 武里地区 3

事業名 テーマ	ふれあい教室 キッズフェスタinたけさと 7つの謎を解いてサンタ救出大作戦		対 象	小学生		定 員	60名
ね ら い	コロナ禍で外出の機会が減っている小学生を対象に、遊びの場を提供するとともに、公民館は楽しい場所だと感じてもらう。 また、実施するそれぞれの企画をとおして、世代間交流の場を提供する。						
協力機関 及び団体	各講師の所属する団体		特 色 位置づけ	小学生を対象に、 クリスマス直前の 時期の楽しい思い 出づくりの場を提 供する。		SDGs の目 標No	4・11
会 場	武里地区公民館 全館		教 材 資料等	全体を通したパンフレットに加え、プログラムごとに必要資料を用意			
実施ま での 経 過	7月 企画立案 11月 1日（月） 公民館だより11月号 12月12日（日） 招待状発送 12月18日（土） 館内飾付け 12月19日（日） 本番		P R 方法	公民館だより11月号			
			受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
12月18日（土） 12月19日（日）	13:00～16:00 13:30～17:00	飾付け 本番  ① 謎を解いて危険を突破しよう！（防災クイズ） ② 引っ越しピラミッド！ ③ 不思議な変身！（繭玉クラフト） ④ 敵を倒して謎を解け！（割り箸鉄砲作りと射的） ⑤ 不思議な宇宙文字を解読しよう！ ⑥ 出会えるかな？ ⑦ 謎を解いて先に進め！（巨大迷路）  ゴール後、サンタさんを救出！！公民館の壁にアニメーション投影	実習 実習	8 23	4 56	12 79	公民館飾り隊  ぼうさい小町武里 春日部市子ども会育成連絡協議会 村田 住子 春日部市レクリエーション研究会 年少リーダー 年少リーダー  富岡 一雄
2 回	6 時間30分			31	60	91	
企画運営上 の 工 夫	・暗くなるのが早い冬季の事業ということを生かし、ゴール後に、公民館壁面に「サンタクロースからのお礼」を伝える巨大アニメーションを投影し、より印象深い事業になるようにした。帰宅時間が遅くなるため、小学3年生までは保護者同伴とすることで、帰りの安全にも配慮した。 ・事前に案内状を送付することで、わくわく感を演出するとともに、参加のルールを記載しておくことで、当日スムーズな運営ができるようにした。 ・各講師には、持ち場だけでなくイベント全体についても説明し、その趣旨を共有できるように努めた。（全体の流れを記載した進行台本も作成した。） ・館内の飾付けは、中学生以上の公募ボランティア（公民館飾り隊）にお願いした。						
成 果 参 加 者 の 声 など	参加者アンケートを実施し、93%の参加者が楽しかったとの回答だった。また、飾り隊からは、公民館職員だけでは考えつかなかったようなアイデアが出てきており、参加者アンケートでも公民館の飾りやクリスマスツリーが楽しかったとの声があった。飾り隊からも、「飾り付けがこんなに楽しいと思わなかった」等の声があり、飾り隊、参加者共に楽しんでもらえたようだった。						
課題と展望	・アンケートの「今後実施して欲しい企画」に多数の声があったため、その声を参考にしながら、企画を立てたい。また、飾り隊として参加してくれた中学生以上の方には、今後も活躍の場を用意したい。 ・次年度は事前の募集活動にも力を入れたい。						

事業名 テーマ	ふれあい教室 いもほり!!!～みんなあつまれ!～		対 象	小学生と その保護者		定員	小学生 20名	
ね ら い	子どもたちに芋掘りを通して、食の大切さ、土に触れる大切さ等を学ぶ機会を作る。食育の観点から、食物がどのように育つか、収穫だけでなく植えることから経験する。また、異学年交流や世代間交流も取り入れ、ただ参加・体験するだけではなく、仲間づくりやコミュニケーション能力の向上も合わせて図るものとする。							
協力機関 及び団体	菜園サークル「ワンダース」 春日部南中学校		特 色 位置づけ	平成27年以来5 年ぶりに復活す る事業		SDGs の目 標No	11	
会 場	武里地区公民館 武里地区内農園		教 材 資料等	学習帳 サツマイモの苗				
実施まで の 経 過	12月18日（金） 打ち合わせ① 4月1日（木） 公民館だより4月号 4月10日（土） 申し込み開始 4月15日（木） 打ち合わせ② 4月17日（土） 打ち合わせ③		P R 方法	公民館だより4月号 ポスター				
			受付方法	武里地区公民館に直接または電話で。先着順。 参加費 子ども1人 500円。 (苗代と立札代)				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月24日（土）	9:30～11:30	オリエンテーション・立札作成	講義	7	18	25	菜園サークル 「ワンダース」	
5月1日（土）	9:30～11:30	植え付け	実習	10	18	28		
6月26日（土）	9:30～11:30	つる返し①・生育観察	実習	6	18	24		
7月24日（土）	9:30～11:30	つる返し②・生育観察	実習	10	17	27		
8月28日（土）	9:30～11:30	つる返し③・生育観察	実習	10	15	25		
9月25日（土）	9:30～11:30	つる返し④・生育観察	実習	10	15	25		
10月16日（土）	9:30～11:30	芋掘り・収穫	実習	6	17	23		
10月17日（日）	9:30～11:30	芋掘り・収穫	実習	2	3	5		
8 回	1 6 時間			61	121	182		
企画運営上 の 工 夫	・菜園サークル「ワンダース」に当日の進行等をお願いするため、定期的な打ち合わせを行う。 ・収穫のみでなく、植え付け・つる返し・草取り等を体験することで、芋がどのように育つか、自然の厳しさ、食物が育つ素晴らしさを学べるよう、サークルの方含めて様々なしかけを行う。 ・新型コロナウイルス対策を徹底する。 ・学校行事の関係で10月16日（土）の収穫日に欠席した参加者のため、10月17日（日）も収穫日として設けた。							
成 果 参加者の 声 など	・頑張って育てた芋を収穫するのが体験として心に残った等の意見が子どもたちから出た。 ・一緒に参加された保護者の方からの評価も高く、来年も参加したいといった声もあった。							
課題と展望	・来年度以降は数年に1回の開催とする案も出たが、畑の整備の関係で数年に1回の開催といったことはできないという話がワンダースよりあった。継続する場合には毎年行う必要がある。 ・収穫の時期が運動会等の学校行事や、公民館の文化祭にかかるためスケジュールの調整が必要となる。							

事業名 テーマ	ふれあい教室 目指せ！星博士	対象	中学生以下とその保護者	定員	小中学生 10人		
ねらい	子どもたちを対象に、自然に触れ合う機会を増やすことで、心の成長を図る。 また、参加者間での交流を図ることも目的とする。						
協力機関 及び団体	特に無し	特色 位置づけ	4回の講座で、自然への理解を深める。また、3回以上出席者に修了証 を用意し、達成感を感じてもらう。				
会場	武里地区公民館 研修室1及び屋上	教材 資料等	講師作成資料	SDGs の目 標No	4・11		
実施までの経過	4月21日（水） 講師打合せ 5月 1日（土） 公民館だより5月号 7月29日（木） 講師打合せ 11月12日（金） 講師打合せ 2月16日（水） 講師打合せ	PR方法	公民館だより5月号 ポスター、チラシ				
		受付方法	5月13日（木）8時30分から先着 順に、武里地区公民館で直接ま たは電話により先着順に受付				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
5月26日（水）	19:00～20:50	皆既月食 雨天のため、映像で観望	講義	4	13	17	草加天文愛好会 （スペース・ワンダー） 三田 明
8月12日（木）	18:30～20:30	夏の星座 星座早見盤作り 雨天のため、彗星やクレー ターについての講義	講義 講義 実習 講義	5	14	19	
11月19日（金）	16:30～18:30	惑星について 秋の大四辺形、土星など	講義 講義 観望	5	16	21	
2月26日（土）	17:00～19:00	望遠鏡づくり 冬の大三角	実習 観望	3月12日（土）に延期			
3月12日（土）	18:00～20:00	2月26日（土）と同内容		中止			
まん延防止等重点措置の適用期間となったことから、第4回を2月から3月に延期して実施する ことにしたが、適用期間延長により、公民館を会場とした講座は中止せざるを得なかった。							
3 回	5 時間50分			14	43	57	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上の立入可能区域をバリケードを作ること明示し、安全確保に努めた。また、保護者同伴か、送迎可能な方を対象とした。</li> <li>・皆既月食やペルセウス座流星群をテーマに取り入れ、メリハリのある講座とした。</li> <li>・天候不良時は、講師が用意した映像等で講座を開催した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、天体望遠鏡を覗いての観望ではなく、望遠鏡の捉えた映像をスクリーンに投影して観察した。</li> </ul>						
成果 参加者の 声 など	観望が出来た回は、見えた星についての感想がほとんどだったが、記入の仕方から、楽しかった様子が伝わってきた。荒天により、観望が出来なかった回でも、講義内容が心に残ったとの声が多数あった。また、保護者からは「家に帰った後も星空を眺め、勉強している。」といった声もあり、子ども達が星空について興味を持ち、さらに深く自分で探求するきっかけにもなった。						
課題と展望	申し込み後も複数の問合せがあったことや、参加者の満足度が高かったことを考慮し、より多くの希望者に機会を提供できるように検討したい。また、今回の修了者の活躍の場も検討したい。						

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば		対 象	武里小学校児童		定 員	コーナーによる
ね ら い	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日の子どもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施している。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施している。						
協力機関 及び団体	共催：武里小放課後子ども教室「わかたけっこひろば」実行委員会		特 色 位置づけ	公民館利用サークル、地域の方の協力を得て、公民館で事業を実施		SDGs の目 標No	11
会 場	武里地区公民館 全館		教 材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの 経 過	前年度の実行委員会で令和3年度の日程及び内容を協議		P R 方法	チラシを武里小学校全児童に配布			
			受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。参加費は、各講座で異なる。			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計		
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6～9・2・3月のどうようひろばは中止。							
6月12日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			室内スポーツ... スポーツ推進委員
7月10日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
9月11日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			チアダンス・・・ ATLAS SPIRITS
9月28日（火）	11:00～11:40	実行委員会	会議	9	8	17	
11月13日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	13	27	40	和楽器... 山桐会
12月11日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	20	19	39	工作... 地域ボランティア
1月8日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	12	22	34	フラダンス... クラブアエケアロハ
2月5日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
3月12日（土）	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
3月12日（土）	9:00～10:50	実行委員会	会議	7	8	15	
5 回	8時間30分			61	84	145	
企画運営上の工夫	・ 地域の方を講師に事業を実施。令和2年度に実行委員会からの依頼を受け、新たにチアダンスのサークルとつながりを作り実施予定だった講座を開講するなど、公民館だからできることに準備の段階から取り組んだ。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密な状態を作らない、マスクを着用する、換気をすることに特に注意を払い、実施した。						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、我慢を強いられる時間が続く中、自分で選んだ講座に、真剣に、かつ、楽しそうに取り組む子供たちの姿が印象的だった。また、中学生から高齢者まで、様々な年代のスタッフとの世代間交流の場にもなった。						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止対策をはじめ、学校と歩調を合わせながら実施していく必要があるが、子どもたちにとっての貴重な体験の機会であり、また、サークル・公民館の活性化にもつながるため、公民館利用サークル・地域の方と積極的に連携し、「地域の子どもたちを地域で育てる」仕組みを継続していきたい。今後も、様々な方のご協力をいただきながら、事業を盛り上げていきたい。						

武里地区 7

事業名 テーマ	たけさとカフェ		対 象	一般		定 員	30～ 50名
ね ら い	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。						
協力機関 及び団体	各講師の所属する機関・団体		特 色 位置づけ	企画運営委員の 協力による市民 主体の事業		SDGs の目 標No	4・11・ 17
会 場	武里地区公民館 研修室1または講堂		教 材 資料等	プログラムにより異なる			
実施まで の 経 過	前年度の企画運営委員会において、 プログラム内容を検討した。 実施前月の公民館だよりで広報		P R 方法	公民館だより ポスター・チラシ			
			受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月16日（金）	14:00～16:00	令和時代のセカンドライフ	講義	中止			明治安田健康開発財団
5月21日（金）	14:00～16:00	人生120年時代～楽しく健康に老いる為に実践してみませんか!～	講義	1	9	10	妙見整体センター 山本 妙子
6月18日（金）	14:00～16:00	腹話術マジックショー	講義	3	16		木村 操
7月16日（金）	14:00～16:00	夏バテ対策！栄養と健康	講義	0	13	13	埼玉県立大学
8月20日（金）	14:00～16:00	「終活」とは～より良く今を生きるために～	講義	6	17	23	倉並 珠貴
9月17日（金）	14:00～16:00	ストップ振り込め詐欺！	講義	1	15	16	埼玉県警察防犯指導班 「ひまわり」 市交通防犯課
10月15日（金）	14:00～16:00	はじめてのSDG s	講義	2	11	13	市政策課
10月15日（金）	16:00～16:30	第1回企画運営委員会	会議	6	4	10	
11月19日（金）	14:00～16:00	今日からできる環境問題対策	講義	2	10	12	埼玉県環境科学国際センター 埼玉県地球温暖化防止活動推進員
12月17日（金）	14:00～16:00	今からできる水問題対策	講義	2	10	12	埼玉県環境科学国際センター 埼玉県水環境課
1月21日（金）	14:00～16:00	春日部の歴史～武里地区を中心に～	講義	12	7	19	市文化財保護課
2月19日（土）	14:00～16:00	春日部市の気象と防災	講義	21	23	44	平井 信行
2月19日（土）	16:30～17:00	第2回企画運営委員会	会議	7	3	10	
3月18日（金）	14:00～16:00	春日部の特産品	講義	4	8	12	市商工振興課
13回	23時間			67	146	213	
企画運営上の工夫	市民主体の運営をめざし、企画運営委員にプログラムの企画及び当日の会場準備や受付等をお願いした。						
成 果 参加者の声など	毎月第3金曜日の午後の開催が定着し、毎回楽しみに参加してくれる方も多い。今年度は10月～12月の3か月連続で、「SDG s」について、その概要から身近なことまでを学ぶ機会を作った。（3回通して参加した方は9人）						
課題と展望	今後も、企画運営委員の協力を得ながら進めていきたい。また、テーマについては、アンケート結果を参考にしながら、市民のニーズにあった内容や地域の課題解決につながるように選定していきたい。						



事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」		対 象	認知症の方やご家族の方		定 員	20人	
ね ら い	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方などが、気軽に参加できる集いの場をつくる。また、認知症についての学習・研修の場をつくり、地域における認知症への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフの育成、援助に努める。							
協力機関 及び団体	共催：春日部市第4地域包括支援センター		特 色 位置づけ	ボランティアスタッフの協力での運営		SDGs の目標No	4・11	
会 場	武里地区公民館 3階研修室1		教 材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりで募集		P R 方法	広報かすかべ公民館だよりチラシ				
			受付方法	第4地域包括支援センターで直接又は電話により先着順に受付				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
4月17日（土）	10:00～11:30	脳トレパズル、ミニ講義、簡単な体操など	実習	2	7	9	春日部市第4地域包括支援センター	
5月15日（土）	10:00～11:30		実習	1	13	14		
6月19日（土）	10:00～11:15		実習	1	8	9		
7月17日（土）	10:00～11:30		実習	1	14	15		
8月21日（土）	10:00～11:10		実習	1	11	12		
9月18日（土）	10:00～11:30		実習	1	11	12		
10月16日（土）	10:00～11:30		実習	1	13	14		
11月20日（土）	10:00～11:30		実習	2	13	15		
12月18日（土）	10:00～11:30		実習	2	15	17		
1月15日（土）	10:00～11:30		実習	3	13	16		
2月19日（土）	10:00～11:30		実習	2	15	17		
3月19日（土）	10:00～12:00		実習	2	16	18		
1 2 回	17時間55分				19	149		168
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、事前申込制に変更、定員を20名に設定した。また。講座の冒頭で、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を行った。 コロナ禍の前は、参加者同士の交流を目的とし、おしゃべり等の時間を重要視していたが、ミニ講義と工作、簡単な体操のプログラムに変更して実施した。							
成 果 参加者の声など	ミニ講義「今日は何の日？」での参加者の懐かしそうな顔をはじめ、楽しそうに過ごしている様子が印象的だった。また、認知症のご家族と一緒に参加された方もいらっしゃり、地域の見守りにもつながっていた。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、以前とは内容を一部変更して実施しているが、定着してきている。今後も、「毎月第3土曜日はオレンジカフェ」を継続させるため、共催となる第4地域包括支援センターと打合せをしながら進めていきたい。また、事業の運営に関わってくださっているボランティア「ニコニコ会」の皆さんにも引き続きご協力いただき、「こんにちは！」「おひさしぶり！」「元気？」のやり取りができるよう公民館もアイデアを出していきたい。							

事業名 テーマ	オレンジカフェ		対 象	認知症の方やご 家族の方		定 員	20人	
ね ら い	地域にお住いの認知症の方やそのご家族、認知予防に関心のある方などが、気軽に活動できる集い・交流の場をつくり、認知症についての情報交換・学習・研修などを実施し、地域における認知症への理解を深める。また、地域住民ボランティアの運営スタッフによる、地域に根付いた見守り活動につなげていく。							
協力機関 及び団体	共催：春日部市第5地域包括支援センター		特 色 位置づけ	ボランティアス タッフの協力で 運営		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	武里東公民館 大会議室		教 材 資料等	プログラムにより異なる				
実施まで の 経 過	実施前月及び当月の 公民館だよりで募集		P R 方法	公民館だより ポスター・チラシ				
			受付方法	第5地域包括支援センターで直接 又は電話により先着順に受付				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
※9・2月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止							春日部市第5地域 包括支援センター	
4月10日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	0	9	9		
5月8日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	0	15	15		
6月12日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	3	18	21		
7月10日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	2	18	20		
9月11日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	中止				
10月9日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	0	16	16		
11月13日（土）	13:30～15:30	音楽鑑賞・体操・相談	交流	3	42	45		
12月11日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	2	13	15		
1月8日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	2	14	16		
2月12日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	中止				
3月12日（土）	13:30～15:30	工作・体操・相談	実習	2	20	22		
9 回	1 8 時間			14	165	179		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染予防対策を行い、工作や体操を取り入れ、参加しやすい雰囲気づくりに努めた。また、音楽の特性を生かした内容を取り入れた。参加者が飽きてしまわないよう、内容が変化するように心がけた。また、孤立してしまう方がでないよう、スタッフで目を配り声掛けをした。							
成 果 参 加 者 の 声 など	回を増すごとに参加者同士打ち解けていた。次回のオレンジカフェをととても楽しみにしている様子が見えた。音楽の特性を生かした鑑賞会では、参加者の反応が違い、工作や体操では得られない、感情の変化が見られ、また企画してほしいとの声があった。全体的にもっと参加したい、楽しく参加しているという感想をいただいている。							
課題と展望	参加者が興味をもち、実践できる講座の内容を展開していきたい。また、仲間づくりや誰でも参加しやすいよう、明るく優しい雰囲気を作っていきたい。参加者の声に耳を傾け、ニーズに合わせて内容を企画を考えていく。ボランティアの方々を増やせるように工夫する必要がある。							

事業名 テーマ	えんトレ体操サポーター養成講座		対 象	一般		定 員	10名	
ね ら い	健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図る。継続的な講座の実施で健康づくりをきっかけにした地域リーダーの育成もあわせて図るものである。令和3年度中のえんJOYトレーニング実施に向けて、トレーニングを進行するサポーターを養成する。							
協力機関 及び団体	共催：第4地域包括支援センター 介護保険課		特 色 位置づけ	様々な団体との連 携		SDGs の目 標No	3・4・11	
会 場	武里地区公民館 講堂		教 材 資料等	えんJOYトレーニングハンドブッ ク				
実施まで の 経 過	令和2年度 2月～3月      新型コロナウイルス感 染拡大のため中止		P R 方法	令和3年度 公民館だより1月号				
	令和3年度 4月              参加希望者に日程連絡		受付方法	武里地区公民館で直接又は電話 により先着順に受付				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回 数	総時間数							
5月18日（火）	10:00～11:30	えんJOYトレーニングを体験しよう	講座	1	5	6	春日部厚生病院 理学療法士 南本浩之	
5月25日（火）	10:00～12:00	音楽にあわせて正しい運動方法と 注意点を覚えよう	実習	1	5	6		
6月1日（火）	10:00～12:00	実際に想定してロールプレイを行おう	実習	1	4	5		
6月8日（火）	10:00～11:30	実際に想定してロールプレイを行おう	実習	1	5	6		
4 回	7 時間			4	19	23		
企画運営上 の 工 夫	・時節にあった、関心の高いテーマを設定した。 ・年間を通した事業で、参加者からサポーターになっていただき、自主的な運営を目指した。 ・地域で活動するリーダー養成の意味合いも兼ねる。 ・第4地域包括支援センター・介護保険課と共催することで、深みのある事業を展開した。							
成 果 参加者の 声 など	参加者は6月から開始したえんJOYトレーニングにサポーターとして積極的に取り組んでくれている。意欲も高く、また雰囲気もいいサポーターチームになった。							
課題と展望	えんJOYトレーニングサポーターの養成講座は終了とし、今後はえんJOYトレーニングを継続していく形となる。参加者同士が声を掛け合いながら楽しく参加できるような雰囲気作りが望ましい。							

## 武里地区 11

A group of people, including children and adults, are practicing Tai Chi in a large, well-lit hall. They are standing in a line, facing away from the camera, and performing slow, deliberate movements. The hall has a polished wooden floor and a large screen at the front.

事業名 テーマ	パソコンの操作を学ぼう！		対 象	一般		定 員	各回 10名	
ね ら い	パソコン初心者を対象に、日常生活に役立つ「ワード」や「エクセル」の基礎的な知識や技術を学ぶ機会として実施する。また、地域の方々が、教え合い、学び合う学習活動を通じて、交流を図る機会とする。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	市民ボランティアの協力により 運営		SDGs の目 標No	4・11・ 17	
会 場	武里地区公民館 会議室1・2または研修室1		教 材 資料等					
実施ま での経 過	4月17日（土） ボランティアスタッフ打合せ 3か月先の実施分まで公民館だよりで 広報		P R 方法	公民館だより				
			受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月29日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		1	1	2		
6月26日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		3	3	6		
7月31日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		0	1	1		
8月21日（土）		非常事態宣言発令のため中止						
9月25日（土）		非常事態宣言発令のため中止						
10月23日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		0	4	4		
11月27日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		1	3	4		
12月25日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		3	4	7		
1月22日（土）		まん延防止等重点措置のため中止						
2月26日（土）		まん延防止等重点措置のため中止						
3月26日（土）	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決		1	6	7		
7 回	1 4 時間			9	22	31		
企画運営上 の工夫	参加者とボランティアスタッフとの1対1の対応が多い講座内容としており、継続性をもって疑問・課題点について学びと交流を図っている。 新型コロナウイルス感染予防対策も3密回避や消毒等を徹底し、会場のレイアウトも工夫しソーシャルディスタンスを確保した。							
成 果 参加者の 声 など	この講座で学べたパソコン操作方法や知識によりワード・エクセルを用いた自分自身で手掛けるられる文書・表などの作成の幅が広がった。							
課題と展望	令和4年度においてはWi-Fi環境が整う予定であるため、参加者の今までと違うニーズに応えられる対応を検討していきたい。							

事業名 テーマ	教養講座 ① 春の散策 ～ガイドと歩く春日部の歴史～ ② 秋の散策		対 象	成人一般		定員	① 20人 ② 募集せず
ね ら い	地域住民に、市内及び近隣の歴史や産業を学ぶ機会を作り、郷土への理解や関心を深めてもらう。また、参加者同士のコミュニケーションをとる機会とする。						
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員 (武里地区・武里南地区)		特 色 位置づけ	大枝公民館との 共催事業		SDGs の目 標No	4・11
会 場	① 浄春院・鷺神社・鷺神社、小淵山 観音院 等 ② 募集せず		教 材 資料等	散策のしおり			
実施ま での 経 過	① 3月30日(火) 打合せ 4月10日(土) 打合せ 4月13日(火) 下見(行程決定) 5月 1日(土) 公民館だより5月号 5月12日(水) 申込受付開始 ② 10月中旬 生涯学習市民推進員と打合せを 行い、秋の散策の中止を決定。 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の 観点より、中止とした。		P R 方法	① 公民館だより5月号 ② 募集せず			
			受付方法	① 5月12日(水) 午前8時30分から、先着順に武里 地区公民館と武里大枝公民館で 直接または電話により先着順に 受付 ② 募集せず			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
① 5月26日(水)	9:00～12:30	北春日部駅(出発)→浄 春院→鷺神社・鷺神社→ 小淵山観音院→幸松第二 公民館→古利根公園橋→ ぶらっと春日部(解散)	見学	9	9	18	生涯学習市民推進員 春日部観光ボランティアの会
1 回	3 時間30分			9	9	18	
企画運営上 の 工 夫	① 今年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の観点から半日での実施とし、2班体制での行動とした。春日部観光ボランティアの会の方に講師を依頼。史跡をより深く学習できる機会とし、生涯学習市民推進員おすすめの「鷺神社・鷺神社」等の名所を行程とした。						
成 果 参 加 者 の 声 など	天候にも恵まれ、市民であっても春日部市を深く知れる心地よい散策となり、参加者からも春日部市の史跡をたどる良い機会になったと喜びの声もあった。						
課題と展望	春の散策では、事業開始以来、市内の数多くの史跡や名所を回っている、次第に散策コースの選定が課題となっていくと考えられる。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策も含め参加者の安全や体調に配慮し、楽しく魅力ある内容で実施できるよう生涯学習市民推進員との連携を深めていく。						

武里地区 1

事業名 テーマ	趣味講座 うちdeつくろう！		対 象	一般	定員	定めず	
ね ら い	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家で過ごす時間が増えているが、「家にいてもやることがなくなってきた」や、「新型コロナウイルスのニュースばかりで気が滅入る」という声を聞くようになってきた。そこで、家にいる間、別のことに没頭できる時間をつくり、前向きな気持ちになったり、新しい活動始める機会とする。また、その発表の機会を設けることで、作品づくりの楽しさを伝え、新たな趣味活動を始めるきっかけとする。						
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ	コロナ禍で家で過ごす時間が増えた 今だから実施すべき事業		SDGs の目 標No	11	
会 場		教 材 資料等					
実施までの経過	公民館だよりで毎月募集		P R 方法	公民館だより、ブログ、館内掲示ポスター			
			受付方法	FAXまたは電子メールで受付			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月募集分	かかった時間は応募者により異なる。		実習	1	1	2	
5月募集分			実習	1	2	3	
6月募集分			実習	0	1	1	
7月募集分			実習	0	3	3	
8月募集分			実習	1	2	3	
9月募集分			実習	0	3	3	
10月募集分			実習	0	1	1	
10月29日（金）～30（土）開催の「武里市民センターまつり」で展示する機会を設けた。							
11月募集分			実習	0	2	2	
12月募集分			実習	0	2	2	
1月募集分			実習	0	2	2	
2月募集分			実習	1	3	4	
3月募集分			実習	0	3	3	
1 2 回				4	25	29	
企画運営上の工夫	応募資格を満たした作品は全て公民館ブログに掲載することで、出品者の満足度を高め、一過性の創作活動で終わらないようにした。あわせて、公民館だより等で紹介をすることで、より効果を高められるようにした。						
成 果 参加者の声など	公民館ブログ、公民館だよりだけでなく、「たけさと市民センターまつり」内での展示スペースも設けることができたため、成果発表の場として喜んでいただけた。また、当事業に応募された方が、市展にも初めて応募されるなど、芸術活動の活性化につながる成果もあった。						
課題と展望	令和2年度の開始以来、のべ64作品の応募があったが、リピーターだけの月もあった。継続的な活動になっていることの証である反面、事業を始めるきっかけであった「家にいる間、没頭できる時間をつくり、前向きな気持ちになったり、新しい活動始める機会の創出」という目的からは外れてきた。次年度は、年間を通じての企画ではなく、長期休暇等、おうち時間の増える時期のみでの実施を検討したい。						

事業名 テーマ	教養講座 ～自分でできた！を応援～ 夏の短期集中自習室		対 象	① 小学生 ② 中学生		定 員	① 10人 ② 20人	
ね ら い	現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から公民館のフリースペースを利用ができない状況であり、近隣の小中学生が自由に学習をする場が少ない状況である。そこで、夏休みの宿題等の自主学習用にクールオアシスである公民館の部屋を環境を、整えた上で開放することで、小中学生に自主学習の場を提供する。							
協力機関 及び団体	特に無し		特 色 位置づけ	夏休みの自主学 習を支援する事 業		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	武里地区公民館 2階 (小学生)和室 (中学生)会議室1・2		教 材 資料等	各自持参				
実施まで の 経 過	7月1日(木) 公民館だより7月号		PR方法	公民館だより7月号				
			受付方法	当日、先着順で受付。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
8月15日(日)	9:00～12:00 13:00～18:00	自主学習 自主学習 ※ 小学生は17:00まで。 ※ 12:00～13:00は、 換気と消毒を実施	学習 学習	2 0	0 2	2 2		
1回	8時間			2	2	4		
企画運営上 の 工 夫	・勉強に集中できる静かな環境とするため、2階はサークルの受付を停止した。 ・座席の移動、私語、飲食禁止。携帯電話はマナーモードにし、室内での通話は不可とした。 ・途中参加、帰宅は自由とし、途中帰宅した席は消毒をしてもらう。また、30分以上離席する場合は、「番号札」を返却してもらう。							
成 果 参 加 者 の 声 など	学習した内容は、多岐にわたっていた。また、勉強を教えてくれる人がいた方がいいとの声もあった。							
課題と展望	社会教育課協力のもと、共栄大学の学生ボランティアに指導を依頼していたが、新型コロナウイルスの感染拡大があったことから、質問解決の時間をとることができなかった。次年度実施の際には改めて協力を依頼し、教養講座の中の学生支援講座として実施したい。							



事業名 テーマ	武里市民センターまつり		対 象	一般		定員	各部屋ごとに設定
ね ら い	公民館利用者の学習成果の発表及び体験コーナー等の実施を通じて、利用者相互の交流と地域住民の公民館活動への理解を深めると共に利用者の拡大を図る機会とする。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を把握することや、3密を避けることなどを徹底し、慎重に実施する。						
協力機関 及び団体	・ 武里市民センターまつり実行委員会 ・ 運営協力員 ・ 武里健康マージャンクラブ ・ 武里公隣防災対策連絡協議会		特 色 位置づけ	・ 実行委員会形式 ・ 管内の幼稚園及び保育園、小・中学校連携		SDGs の目標No	11
会 場	武里地区公民館（全館）		教 材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	6月15日(火)～7月6日(火) 参加受付 7月10日(土) 第1回実行委員会 9月11日(土) 臨時実行委員会 10月2日(土) 第2回実行委員会 10月9日(土) ステージの部調整会議 10月27日(水) 事前会場準備 10月28日(木) 学校等展示作品搬入 10月29日(金), 30日(土) 開催日 11月1日(月) 学校等展示作品搬出		P R 方法	公民館だより6月～10月号（周知・参加募集） ブログにて周知 管内の幼稚園・保育園及び小、中学校でのチラシ配布及びポスター掲示依頼			
			受付方法	（展示・ステージ） 公民館窓口にて参加申込書を配布（見学） 自由 ※ チケット制（ステージの部のみ整理券）			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月29日（金） 10月30日（土）	9:00～17:00 9:00～17:00	展示 展示・ステージ  （展示の部） ・ たけさと展覧会 ※ 公民館利用サークル・個人作品展示 ※ うちdeつくろう！応募作品展示 ※ 地域の子どものたちの作品展示 ・ ハロウィン写真館 ※ 応募写真 ・ 避難所シミレーション ・ SDG s クイズボード 展示会 （ステージの部） ・ ステージ発表 ※ 公民館利用サークル	鑑賞 鑑賞	77 395	98 452	175 847	
2 回	1 6 時間			472	550	1022	
企画運営上の工夫	・ 3密を避けるなど十分な新型コロナウイルス感染防止対策を各階・各部屋にて実施。 ・ 参加者にはチケット制を導入し、ステージの部においては整理券を一部事前配布した。						
成 果 参加者の声など	・ 3密を避けるなど十分な新型コロナウイルス感染防止対策を各階・各部屋にて実施・対応ができた。 ・ ステージの部でも観覧者の気持ちを掴む感嘆の声が聞かれた。						
課題と展望	・ コロナ禍での開催となったが、オンライン等の違う角度からの開催も検討の余地あり。 ・ 今回のノウハウを通常開催となった場合でも応用・活用できる取組を構築していく。						

事業名 テーマ	令和3年度春日部市民体育祭 第61回武里地区体育祭	対 象	一般	定員	種目ごと		
ね ら い	地区住民を対象として主体的に開催し、誰でも気軽に参加でき、地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。						
協力機関 及び団体	主催：春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管：武里地区体育祭実行委員会	特 色 位置づけ	武里地区内の自治会のコミュニティ醸成の場として、また、体育振興の場として。	SDGs の目 標No	3・11		
会 場	武里小学校校庭	教 材 資料等					
実施までの経過	5月18日(火) 武里地区自治会連合会 会長、副会長及びスポーツ推進委員と事前協議	P R 方法	公民館だより7月号で体育祭中止について報告				
	5月29日(土) 市実行委員会で中止が決定 6月5日(土) 関係者へ中止の通知を発送	受付方法					
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月10日(日)				中止			
0 回	0 時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。						
課題と展望	来年度実施する場合でも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開会式などの式典や、プログラム等、変更が求められる。特に、密対策が重要であるため、関係者との協議を入念に行いながら進めていきたい。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	公民館利用者 及び利用予定者	定 員	武里75名 武里東50名	
ね ら い	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	公民館利用者会 議とあわせて実 施	SDGs の目 標No	4・10・ 11	
会 場	① 武里地区公民館講堂 ② 武里東公民館大会議室		教 材 資料等	DVD映画 「わっかカフェへようこそ」			
実施まで の 経 過	1月1日(土) 公民館だより1月号 1月14日(金) 開催通知発送 1月23日(日) 申し込み締め切り		P R 方法	公民館だより 1 月号 開催通知 (窓口配布・郵送) ポスター			
			受付方法	1月23日 (日) までに参加希望会 場に直接または電話で。			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月29日 (土)	11:10～11:45	武里地区公民館	鑑賞	18	15	33	
1月29日 (土)	14:30～15:00	武里東公民館	鑑賞	2	3	5	
		※ 内容は両館ともに同じ DVD映画「わっかカフェへようこそ」鑑賞					
2 回	1 時間05分			20	18	38	
企画運営上 の 工 夫	・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、手指消毒、使用物品のアルコール消毒に加え、空間除菌装置を設置する等、感染拡大防止対策を徹底した。 ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種未接種からくる差別が発生していることから、各サークル、個々人でワクチンの接種未接種に関わらず、互いの考え方を尊重するよう呼びかけた。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	・ DVDの内容がわかりやすかったとの声があった。						
課題と展望	・ 開催通知を送る時期が遅れてしまった。12月中の開催通知送付が望ましい。 ・ 今年度使用したDVD映画「わっかカフェへようこそ」では ① インターネットによる人権侵害② 高齢者の人権③ 外国人の人権 が取り上げられていた。来年度はまた違うテーマのDVDを上映したい。						

事業名 テーマ	サークルスタート	対象	公民館利用団体 一般	定員	特定せず	
ねらい	新規会員を獲得したいサークルと、サークル活動を始めたいので、情報が欲しい地域住民を結びつけることを目的とする。					
協力機関 及び団体	武里地区公民館及び武里東公民館利用団体	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	11	
会場	武里地区公民館及び武里東公民館	教材 資料等				
実施までの経過		PR方法	館内掲示ポスター			
		受付方法	随時受付			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
4月1日（木）～ 3月31日（木）		参加団体:2団体	掲示			
				0	0	0
企画運営上の工夫	特定の期間に募集するのではなく、随時受付可能とすることで、各サークルの都合に合わせて告知ができるようにした。					
成果 参加者の声など	武里地区、武里東公民館で2団体の申し込みがあった。					
課題と展望	公民館内の掲示板を使い、各サークルが募集したいタイミングで告知できるようになっているが、参加団体は少ない状況であった。次年度は、新規サークルの立上げ支援も含めた形で事業を実施したい。					

事業名 テーマ	① 令和3年度武里地区公民館利用者会議 ② 令和3年度武里東公民館利用者会議		対 象	公民館利用者 及び利用予定者	定 員	武里75名 武里東50名	
ね ら い	新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた公民館の利用方法及び、利用者と公民館との連絡調整を行い、公民館の円滑な利用を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	人権教育研修会 とあわせて実施	SDGs の目 標No	4・11	
会 場	① 武里地区公民館講堂 ② 武里東公民館大会議室		教 材 資料等	会議資料 公民館へのご意見・ご要望			
実施ま での 経 過	1月1日(土) 公民館だより1月号 1月14日(金) 開催通知発送 1月23日(日) 申し込み締め切り		P R 方法	公民館だより 1月号 開催通知（窓口配布・郵送） ポスター			
			受付方法	1月23日（日）までに参加希望会 場に直接または電話で。			
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月29日（土） 1月29日（土）	10:00～11:10 13:30～14:25	武里地区公民館 武里東公民館  ※ 内容は両館ともに同じ 公民館利用に関すること	講義 講義	20 5	16 4	36 9	
2 回	2 時間05分			25	20	45	
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時間が短くなるよう手短に説明した。また検温、手指消毒、使用物品のアルコール消毒に加え、空間除菌装置を設置する等、感染拡大防止対策を徹底した。 ・当日参加できなかったサークルには会議資料を後日配布した。 ・インターネットからも抽選・予約を入れられる旨を説明し、今後活用してほしいことを伝えた。						
成 果 参 加 者 の 声 など	両館ともに参加した団体は多くはなかったが、東公民館では公民館に対する質問や意見等が多く上がった。結果的に利用者の疑問を解決する時間を持てた。						
課題と展望	・開催通知の送付時期が遅れてしまった。12月中の送付が望ましい。 ・参加人数が多くはなかったにも関わらず、武里地区公民館のほうは密を避けたため会場がいっぱいになってしまった。来年度以降もコロナ禍で開催となった場合には定員を減らす必要がある。						

事業名 テーマ	グラウンド利用団体代表者調整会議		対 象	グラウンド利用者及び利用予定者		定員	特定せず
ね ら い	公民館グラウンドの円滑な利用を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	グラウンド利用団体及び利用予定団体による利用枠調整		SDGs の目 標No	11
会 場	武里地区公民館 研修室1		教 材 資料等	会議資料			
実施までの経過	実施月の公民館だよりで告知		P R 方法	公民館だより			
			受付方法	当日受付			
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月18日（日）	10:00～10:40	翌月・翌々月分の 利用枠調整	協議	18	4	22	
6月20日（日）	10:00～11:20		協議	15	4	19	
8月22日（日）	10:00～10:50		協議	16	2	18	
10月17日（日）	10:00～10:30		協議	19	3	22	
12月12日（日）	10:00～10:30		協議	17	4	21	
2月20日（日）	10:00～10:45		協議	18	4	22	
6 回	4 時間35分			103	21	124	
企画運営上の工夫	グラウンド利用の枠を協議する場としてだけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止や、運動時の怪我防止等と呼びかける場にもした。また、「自分たちのグラウンド」という意識を持ってもらえるよう、利用団体による除草作業も行った。						
成果 参加者の声など	グラウンドの利用がスムーズに進んだだけでなく、グラウンドの状況について職員に話をしてくれる回数が増えた。						
課題と展望	利用者団体の意見や要望を聞きつつ、グラウンドの円滑な利用を図るため、今後も会議を実施していきたい。また、定期的な除草作業を行ってはいるものの、草の根がしっかりと張ってしまっていることから土の入れ替え等の整備を行うことが課題である。						

事業名 テーマ	公民館だより「武里」の発行		対 象	地区内全世帯		定 員	発行部数 17,000部	
ね ら い	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会 場			教 材 資料等					
実施ま での 経 過	毎月20日頃 24日頃 月 末	記事編集 印刷 配布	P R 方法					
			受付方法	掲載依頼記事は、前月10日までに公民館に申込み				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参 加 者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合 計		
1 2 回		公民館だよりの発行 A4両面刷（A3の場合あり）						
		<div></div>						
企画運営上 の 工 夫	公民館事業等の情報を、分かりやすく伝えると共に、魅力ある紙面づくりに努め、公民館活動への参加や理解・関心を深めてもらえるように心がけた。また、今年度から新たに「たけさとかわらばん」として、サークル活躍や、主催事業の様子を掲載した。							
成 果 参 加 者 の 声 など	公民館だよりで事業の開催を知り、参加している方が多いことから、広報手段の中心となっており、大きな効果がある。							
課題と展望	毎月発行し、公民館や地域の情報を届けたい。また、見やすく、分かりやすい紙面づくりに努めていきたい。							